

にしなか 田園まちづくりニュース



歩いてみよう 見てみよう 西中「まちあるき」を行いました



11月22日（土）、第2回まちづくり協議会を開催し、田園まちづくりを考えるための、「まちあるき」をおこないました。

役員8人、市役所開発審査課職員2人、アドバイザー1人が参加しました。さらに今回は市の教育委員会から 学芸員をお招きし、西中の歴史文化解説をして頂きました。

普段見慣れたわがまちですが、一緒に話をし確認しながら1時間半ほどかけて回りました。

その後、公会堂に戻り、

- ・西中の良い所
- ・将来に伝えたいこと
- ・子どもの頃の思い出
- ・困った所や問題点
- ・西中らしい風景… などなど

について意見交換を行いました。

西中の「今」を点検した内容を「西中まちづくり夢マップ」としてとりまとめましたので、お知らせします。（裏面参照）

Q よく知っているのに、なぜ「まちあるき」？

A お住まいの方は自分のまちをよくご存じですね。でも、誰かと一緒に歩いたり、まして点検しながら歩くことは少ないのではないのでしょうか。

今回、まちづくり協議会では、まちの現状を一緒に見て一緒に考える「共有体験」のために、まちあるきを行い、気づいたことを意見交換しました。

また、学芸員やアドバイザーなど外部の人の視点を取り入れるのも重要な目的のひとつです。

【まちあるきの流れ】



まずは、公会堂で西中の歴史文化を学習！



まちあるきに出発！村の中を歩いて見て回ります



墓地まで行って、実は貴重な十三層塔残欠をチェック！



村の中に戻って道路、建物などを点検します



公会堂にて、気づいたことを出し合い、話し合いました

次回のまちづくり協議会で、まちづくりの将来方向について検討します。

西中まちづくり夢マップ

(西中の良い点、問題点等)

注：「まちあるき」後に公会堂にて行った意見交換の内容を整理したものです。田園まちづくりの計画を示すものではありません。

1 道路、交通に関すること

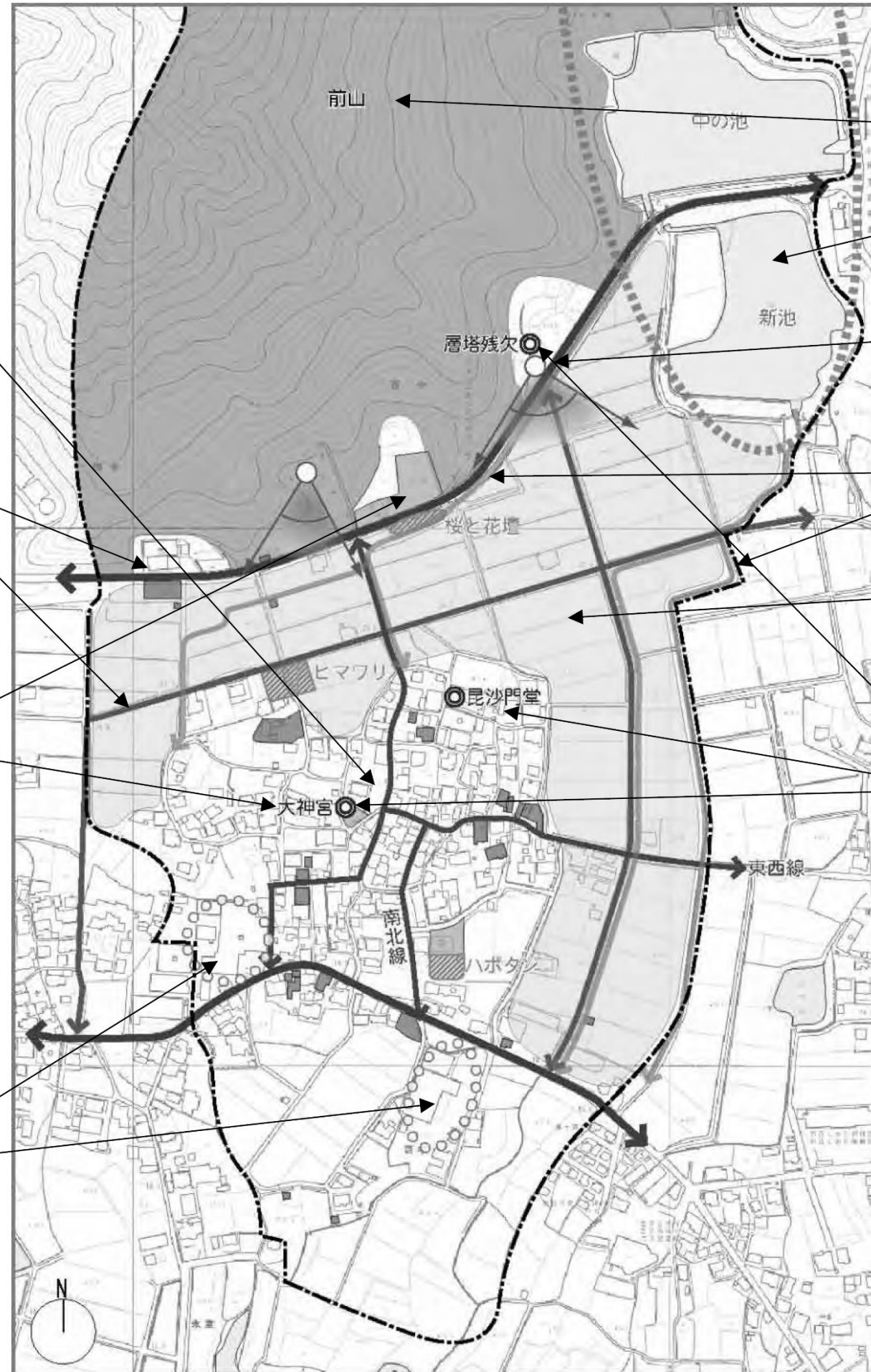
- ①主要道路は南北線と東西線の2つ。主要道路でも狭い部分や曲がりにくい交差点がある。
- ②その他の町内の道はどれも狭い(最近の大型の救急車では進入できない)。コーナー部分の隅切り改良や電柱の移設、側溝のグレーチング化などで改善してはどうか。ただし、側溝のグレーチング化によって家の外壁や庇などに車が接触すると困るので嫌がる人もいる。
- ③家の前まで車が入れない場所もある。それでは新たに転入してもらえない。共同駐車場があればよいのでは。
- ④山裾の道路(市道氷室西飯坂線)、集落北側の農道は、通過交通が多く、スピードも出しているのが危険。

2 公園や広場に関すること

- ①大神宮社、ふれあい広場があるが、(若い母親によると)子どもを遊ばせる所がない。
- ②「ふれあい広場」は桜がきれい。
- ③「ふれあい広場」は、当初は「児童公園」として作って子供会が管理していたが子どもが少なくなったので「ふれあい広場」に改めた経緯がある。公園や広場を新たに作ってもその後の管理の問題があるのでどうか。

3 生活環境に関すること

- ①空き家が増えている。今は比較的近くに住んでいる方が多いので、時々管理に来ているし、庭木の手入れなどもされているが、将来はどうか心配がある。
- ②立派なお宅が空き家になっていたり、既に高齢者一人暮らしになっている所もある。
- ③地場産業(タオル)の工場だったものが転用され、工場や運輸倉庫になっている。騒音、振動、大型車通行などで生活環境に影響がある。
- ④集落南側の道路(市道山中志方町線)沿いに町内会で土地を借りて共同のごみステーションを設置しているほか、臨時の駐車場にも使っている。



4 自然に関すること

- ①前山は身近な里山、子どもの頃はよく遊んでいた。自然を守り伝えたい。
- ②山頂付近ではお不動さんを祀っている。震災後補修した。今は登山道のササ刈り程度はしている。
- ③自然環境としても、農業としても、3つの池(上・中・新)が重要。中と新は改修済みだが上の池は未改修。上の池では水質悪化が心配。ブラックバス等の格好の釣り場となっており、ごみの放置などに困っている。
- ④山裾の基地は高台になっているので見晴らしがよい。夜景もきれいだし夏祭りの花火も楽しめる。

5 農業に関すること

- ①主要用水路は2系統ある。農業団体と水利組合が連携し、農業関係(ため池、水路、農地)はしっかりと管理している。放棄田を発生させないよう協力している。
- ②ハボタンやヒマワリなど、景観作物の栽培、配布も実施。
- ③主な農産物は米、イチジク、レンコン、イチゴ、タケノコなど。
- ④農業の後継者の問題は心配になってきている。

6 歴史文化に関すること

- ①今回の歴史文化解説で西中にも貴重な文化財があると知った。
- ②十三層塔残欠や毘沙門堂、大神宮社などは守り伝えていかねばならない。

7 地域コミュニティに関すること

- ①昔あった「講」から、実行委員会方式に変更。手伝い合う風土が生きており、村づくりはうまく回っていると思う。次の世代にいかにつないでいくかが課題。
- ②高齢化が進み、自警団や青年団などが継続できなくなっている。若い人の定着、誘致が重要。
- ③公会堂では作品展も開催。多趣味の人が多く、写真、絵画、陶芸などが出品されにぎわう。

(村の歳時記)

- 1月：とんど、初トラ
- 2月：ごみひろい(上旬)
- 5月：生活排水路清掃+防災訓練、花祭り
- 8月：盆踊り(8/14)、地藏盆(8/23)
- 9月：慰霊祭
- 10月：秋祭り(第2土日)

にしなかの いま

※「まちあるき」で歩いて見てみた、西中の今を紹介します。



前山の美しい姿 なつかしい里山



広がりある眺望 夜景もきれい



桜と花壇（ふれあい公園前）



丁寧に管理されている毘沙門堂



毘沙門堂の脇にある地藏尊



十三層塔残欠
（鎌倉時代中期）



大神宮社（遊び場、盆踊り）



庭先で野菜を栽培する暮らし



狭いが趣ある道路の景観



側溝にフタ掛けした道路
塀や建物の趣を残しつつ、道路は美
しくなっています



空き家の増加 管理が行き届か
ないと荒れてしまいます



空地 宅地として活用できれば…



ハボタンの栽培
玄関先を美しく飾ります

お問
い
合
わ
せ

◆まちづくり協議会に関することは…
まちづくり協議会会長（ ）まで
（電話： ）

◆田園まちづくり制度に関することは…
加古川市役所開発審査課（ ）まで
（電話： ）